| 学校番号 | １００１ |
|---|---|

# 令和５年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | 服飾手芸 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基本的な手芸に関する知識を身に付け、生活の中で活かせるようになる。
・毎時間の取り組み状況はもちろんのこと、デザインの工夫度など独創性を高く評価する。ひとり一人の個性を伸ばし、創造性を高める授業を行う。

2　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，創造的な手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）手芸の種類と特徴及び変遷，各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
（２）手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し，手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（３）手芸品の製作を目指して自ら学び，創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 手芸の種類と特徴及び変遷，各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し，手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 | 手芸品の製作を目指して自ら学び，創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 月 | 単元 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 主な評価の観点 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | a(知) | b(思) | c(主) |
| 4・5月 | 刺繍(ストラップ製作) | ・刺繍の種類と技法について<br>・ストラップのデザインを考え基本的な刺繍の技法を活用する。(作品製作) | a： 刺繍の基礎的な知識について理解できており、その技法を作品製作に活かすことができている。<br>b:技法の製作工程や表現効果について課題を発見し、その解決に向けて考察しながら創造的な製作ができている。<br>c： 提出期限までに道筋立てて主体的意欲的に取り組めている。 | プリント | レポート | 作品<br>観察<br>振り返りシート |
| 6・7・8月 | 刺繍・アップリケ(トートバック製作) | ・さまざまな刺繍の特徴と技法<br>・バッグのトータルデザインを考え、刺繍・アップリケ・ビーズ刺繍などの装飾技法を活用する。(作品製作) | a： 刺繍やアップリケの基礎的な知識について理解できており、その技法を作品製作に活かすことができている。<br>b:技法の製作工程や表現効果について課題を発見し、その解決に向けて考察しながら創造的な製作ができている。<br>c： 提出期限までに道筋立てて主体的意欲的に取り組めている。 | プリント | レポート | 作品<br>観察<br>振り返りシート |
| 9・10・11・12月 | パッチワーク・キルティング(バッグ製作) | ・パッチワークおよびキルティングの特徴と技法<br>・バッグのトータルデザインを考えてパッチワークおよびキルティングの技法を活用する。(作品製作) | a： パッチワークやキルティングの基礎的な知識について理解できており、その技法を作品製作に活かすことができている。<br>b:技法の製作工程や表現効果について課題を発見し、その解決に向けて考察しながら創造的な製作ができている。<br>c： 提出期限までに道筋立てて主体的意欲的に取り組めている。 | プリント | レポート | 作品<br>観察<br>振り返りシート |
| 1・2月 | 羊毛フェルト(ブローチ製作) | ・羊毛フェルトの特徴と技法<br>・ブローチのデザインを考えて羊毛フェルトの技法を活用する。(作品製作) | a： 羊毛フェルトの基礎的な知識について理解できており、その技法を作品製作に活かすことができている。<br>b:技法の製作工程や表現効果について課題を発見し、その解決に向けて考察しながら創造的な製作ができている。<br>c： 提出期限までに道筋立てて主体的意欲的に取り組めている。 | プリント | レポート | 作品<br>観察<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度